



自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)最終フレームワークの分析
レインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN) ショーナ・ホークス

権利者と市民社会からのよくある質問

生物多様性危機の最前線にいる人々の主な優先事項とTNFDの比較

企業や銀行は:

- 環境破壊や人権侵害に対して**法的責任**を負うか？ **いいえ**
- 有害な活動や融資で得た**利益を放棄**する必要があるか？ **いいえ**
- 被害を受けた人びとや生態系を**救済**する必要があるか？ **いいえ**
- 人々が自分の地域の問題に当該企業や銀行が関連しているか確認できるように、**どこで事業を行い、どこから購入し、どこに融資しているか**を開示する必要があるか？
いいえ
- 深刻な環境被害や人権侵害に関する**苦情や申し立て**を開示するか？ **いいえ**
- 違法行為との関連や、**違法行為に対する罰金処分**を報告するか？
ほとんどの場合、いいえ

	課題	採用可能な見解例	TNFDの見解
1.	コミュニティの知る権利	被影響コミュニティは、報告を行う企業がコミュニティの地域で活動しているか、同地域から調達しているか、あるいは同地域での活動に対して資金を提供しているかを知ることができる。	X つまり、TNFDは、地理的位置情報、供給業者のリスト、排除対象となる業者のリスト・投資先領域などに関する報告を推奨していない。
2.	重要性(マテリアリティ)	二重のマテリアリティ:企業は、生物多様性への影響と自然関連課題による事業への影響を開示する。	X 基本的に企業価値・単一のマテリアリティに限定している。
3.	苦情について現地での事実確認が可能	データセットなどの情報を公開することによって、TNFD報告書の主張と現地の状況を照らし合わせて独立チェックすることを可能にする。	X 基本的な見解(すなわち1、2、4)とハイレベルな測定基準の使用により、報告された主張のほとんどは独立した事実確認ができない。
4.	体系的な苦情報告	企業は、生物多様性と人権に関する慣習について直面している苦情や申し立てのリスト(グリーンバンス・リスト)を体系的に開示する。	X TNFDメンバーは、過去10年間に <u>300件近くの権利侵害の申し立て</u> に直面している。
5.	人権	人権はTNFDのすべての要素の中心であり、生物多様性の成果の基本であると見なされている。	? 企業が人権デューデリジェンスを開示することを推奨しているが、フレームワークの1、4、6およびより広範な問題など、障壁がある。
6.	救済・是正処置	投資家を含むすべての報告企業が、苦情処理メカニズムを設置し、それが信頼に値しかつ運用可能であることを示す。	X 組織に対し、苦情処理メカニズムがある場合は報告するよう勧めているが、義務づけているようには見えない。
7.	ロビー活動	企業は、自然関連問題に関するロビー活動(業界団体を通じて行ったものを含む)における立場と活動を報告する。	? 推奨事項はあるが、曖昧である。
8.	排除	悪質な慣行、不誠実な報告、グリーンウォッシング(訳註:上辺だけの欺瞞的な環境配慮アピール)に関与する企業を排除・取引停止するプロセスがある。	X

	課題	採用可能な見解例	TNFDの見解
9	自然の商品化	「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間の科学及び政策プラットフォーム」の提言(市場ベースの考え方が生物多様性の損失を悪化させる役割を担っていることを含む)に真摯かつ体系的に取り組んでいる。	X TNFDは、新たな「自然市場」を通じて自然の商品化を増大させる可能性を秘めているが、これまで考察の対象となっていない。
10	危害を及ぼして得た利益	生物多様性や人権への危害に関連して得た利益は、保持されない。例えば、救済・是正措置などに使われる。	X TNFDでは、企業は生物多様性や人権に害を及ぼして得た利益の100%を保持できる。
11	アカウンタビリティ (説明責任)	TNFDので報告を行う企業は、法的説明責任が「移行リスク」の基本であると明言し、環境と人権に関する企業の説明責任についての法律に関する環境擁護者主導の活動を支持する。TNFDは企業が作成した枠組みであるため、将来の法律の基礎として検討されては絶対にならないと明確に述べる。	X TNFDは、生物多様性への害に対する実際のリスクを生み出す法律から目をそらし、弱体化させているという根強い批判がある。

「昆明・モンリオール生物多様性枠組 VS TNFD (GBF: Global Biodiversity Framework) TNFDはGBFと「整合」していない。

ターゲット15:

「(a) 生物多様性に係るリスク、生物多様性への依存及び影響を定期的にモニタリングし、評価し、**透明性をもって開示すること**、これをすべての大企業及び多国籍企業、金融機関については要求など通じ、事業活動、サプライチェーン、バリューチェーン及びポートフォリオにわたって実施する」

* TNFDは、基本的に**影響についての報告を推奨していない**。

* TNFDは「**透明性をもって開示**」しない。事実確認を行うことはできない。また、地域コミュニティは当該企業と地域とのつながりを知ることすらできない。

ターゲット14は、政府に対し、公的な活動及び民間の活動、財政及び資金フローを生物多様性目標に整合させるための政策や規制等の制定を求めている。

- TNFDでは、企業は生物多様性や人権に害を及ぼして得た**利益の100%を保持できる**。
- TNFDでは、企業は生物多様性や人権への**被害に対して法的責任を問われない**。
- TNFDでは、企業が**土地や水のフットプリントを拡大**することに何の制限もない。
- **TNFDは自然の商品化**に対処しておらず、それを増幅させる可能性がある。

ありがとうございました

TNFDに関するNGOなどの資料の多くは、以下のウェブサイトで閲覧可能
: <https://forestsandfinance.org/tnfd/#1-5>

RANアドバイザー、ショナ・ホークス(shona@ran.org)までご連絡ください



Joint Open Letter to the TNFD
Your work is undermining the real solutions to the nature crisis

13 October 2022



Timeline And Resources

Below is a summary of some key documents and events, starting with the most recent. As well as key TNFD documents it also includes documents relevant to issues put forth by NGOs and networks, particularly in the [May 2023 Open Letter to TNFD](#).

September 2023: CSOs issue a joint press release on the launch of TNFD: [Final framework launches to ongoing fears of greenwashing](#).

September 2023: TNFD's final framework is launched at an invite-only event in New York, with [additional documents](#).

September 2023: Rainforest Action Network releases a [pre-emptive press release](#) ahead of the TNFD framework launch, based on TNFD's failure to act on key greenwashing concerns throughout its process.

August 2023: An [Eco-Business](#) article about TNFD notes that it has been welcomed by market participants but that "NGOs are skeptical of whether it will address the role of large companies in driving biodiversity loss" and cites the [May 2023 Open Letter](#).

June 2023: An article by Rainforest Action Network is published on the BankTrack website: "Two months ago 62 organizations and 3 Goldman Environmental Prize winners wrote an Open Letter to the TNFD. No one responded."

July 2023: An open access article in the academic journal [Conservation Letters](#) "Risky Business" raises many concerns about the TNFD, including that it is a form of corporate capture of public decision-making.

June 2023: A letter published in the journal [Nature](#), led by a Professor of Accounting and Risk, cites the recent CSO open letter and raises concerns about the lack of scientists in TNFD's governance structures, and the risks of corporate capture including a "greenwashing risk" of regulatory processes. [Environmental Finance](#) reports on the [Nature](#) article under the heading "TNFD criticised for lack of scientists in governance".

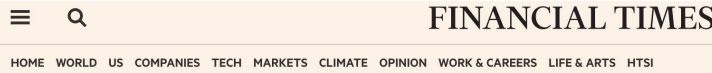
June 2023: Media outlet [Environmental Finance](#) puts key concerns raised in the 2023 CSO open letter to TNFD - including that TNFD has failed to propose disclosures on links to rights violations, lobbying around nature or nature-related complaints against companies, and that it has not included the voices of youth or a gender analysis of its work. In response, TNFD discusses its stakeholder engagement but does not respond to the substantive points raised.

June 2023 - A new [briefing paper](#) calls on financial institutions to commit to five key principles to align their activities with the Global Biodiversity Framework. It is written by the Bank Information Centre, BankTrack, Friends of the Earth US and Rainforest Action Network.

June 2023: Forest Peoples Programme publishes a blog ["TNFD must integrate the rights of indigenous peoples and local communities in its framework"](#) highlighting concerns with TNFD's current approach and why it is critical that it adopts necessary human rights provisions.

June 2023: A submission to TNFD from the [School of Biological and Behavioural Sciences](#), Queen Mary University of London notes that "there is a risk that insufficient attention to the extinction crisis undermines the credibility of the TNFD Framework". [Carbon Pulse](#) report on the submission.

June 2023: The [International Indigenous Forum on Biodiversity](#) makes a submission to the TNFD. It makes a host of recommendations, particularly raising that TNFD does not align with Indigenous Peoples' rights under international human rights law or the more rights-centered framework of the Kunming-Montreal Global Biodiversity Framework. NGOs Forest Peoples Programme, BankTrack and Global Witness also make submissions.



How regulators have relinquished their work to corporate executives

